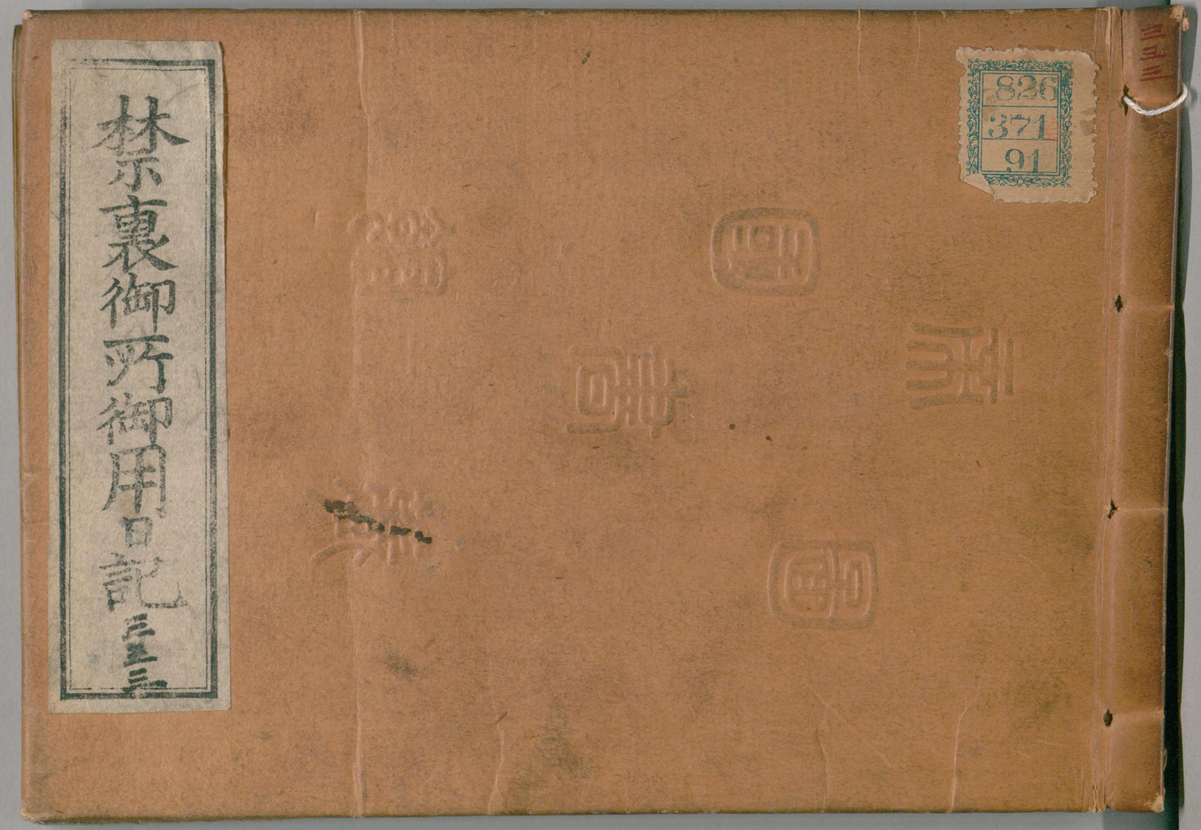


826
371
91

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

當時諸家昇進次第

帝國圖書館藏
533

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

當時諸家昇進之次第

攝家　近衛　九條　二條　一條　鷹司

元服時正五位下任少將直叙正四位下

中將時叙二ヲ三位不歴參議任納言

無近衛大將昇大臣至攝關為先途

久我　三條　花山院　西園寺　德大寺

大炊御門　今出川

清華

童躰時任侍從自從五位下叙正五

位下元服時從四位下中將時叙三位

近代不歴參議任納言兼近衛大

將至太政大臣為先途

大臣家　三條西　中院　正親町三條

童躰時叙從五位下元服時從

6.4.13
購求

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

五位上侍從四位中將時任參議至
大臣為先途
羽林家 正親町 阿野 中山 鷲尾
園 澁路 松木 姉小路 東園 庭田
太宮 四条 西大路
童躰時叙從五位下元服時從五
位上侍從近衛次將時補藏人
頭歷參議至大納言為先途
同 四辻 小倉 武者小路
童體時叙從五位下元服時從五
位上侍從歷近衛次將四位時任
參議至大納言為先途

同 野宮 飛鳥井 清水谷 山科 藪
今城 持明院 橋本 岩倉 園池
菱谷 六条 滋埜井 上冷泉 難波
童体時叙從五位下元服時從五位
上侍從歷近衛次將叙三位任參議
至大納言為先途
同 水無瀬 七条中園 梅溪 下冷泉
裏辻 千種
大槩同右至中納言為先途
同 樋口 堀川 綾小路 山本
大槩同右任參議為先途
同 河鰭 梅園 花園
大槩同右叙三位為先途
同 鹿流 田向 東久世 西郊 風早
愛宕 中川 伏々木

国立国会図書館 タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91
ガラス使用

大概同右新家昇進不定

名家 日野流 日野 烏丸 柳原 廣橋

元服時從五位上侍從自左右

辨官補藏人歷貫首任參議

至大納言為先途近代或叙一

位邂逅昇大臣

同 勸修寺流 勸修寺 清閑寺 耳露寺 桂 葉室 小川坊城 中御門 万里小路

大概同右不任侍從

芝山 梅小路 池尻 海住山

同 兩家麗流 日野西 松崎 常磐 裏松 勸修寺小路 竹屋

大概同右昇進遥劣不歷花人

至中納言為先途

准名家 高倉

元服時從五位上侍從歷參議

至大納言為先途

同 平 西園寺 平 平松

大概同右至中納言為先途

同 冨小路 平 長谷

大概同右叙三位為先途

同 源 竹内

歷六位藏人其外同右

同 儒門紀傳 菅 高辻 東坊城 大系

元服時六位補文章生不歷藏人

歷參議至大納言為先途

同 明經 清舟橋 ロ 伏原

至二三位為先途 同右

同 陰陽道 安土門 ロ 倉橋

歴六位輩人至二三位為先途

同 儒門 菅 唐橋

元服時六位至中納言為先途

准羽林家 神祇伯 白川

昇進異于他也二三位先途 ニ

補道家

白川　吉田　藤波

冷泉家　飛鳥井　三条西中院　阿野　水無瀬

紀傳道　高辻　唐橋　五條　東坊城

明経道　舟橋　伏原　坊小路

徐子家　清水谷　持明院

清業家　綾小路　勘解由小路　四辻　庭田　五辻　烏丸

歌道　冷泉　野宮

和琴家　四辻　大炊御門

琵琶家　伏見　西園寺　今出川　園　綾小路

笙家　四辻　正親町　綾小路　葛

笛家　大炊御門　綾小路　烏丸　冷泉　高倉　花山院　清閑寺　松木　四條　山科

笙家　花山院　清閑寺　松木　四條　山科

笛笙兼家　綾小路

篳篥家　烏丸　冷泉　綾小路

裝束者家　烏丸　冷泉　大炊御門　高倉　山科

陰陽道家　土御門　倉橋

將棋家　大谷瀬

暦道

月輪　烏丸　柳原　勧修寺　舟橋　四條

冷泉　山科　廣橋　飛鳥井　土御門　六条

高倉　三條西　櫻川　橋本　梅園

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

右十七家武家ニ従フ

一沢将　禁中御和ノ寺役

左三人　中将少将ナリ

右三人　何モヨイカケマナジイノ類

一啓陣ノ将　禁中ニテモ東宮ニテモ中宮ニテモ御殿ノ寺役之

右近衛府　左中将　右少将

左右近衛府ニ付

左右兵衛府　左右兵衛

一御供　禁中御太刀持役

一勘命勅使　中宮殿ニ事ヲ中宮ヘ役ナリ

一伶倫殿上人　所楽ノ役者

一中宮職　大夫　権大夫　亮　才亮

坊官　大進　才大進　少進　才少進

一雑色長　雑色

一布衣　束帯異但在式中将　装束也ニテ見ナリ

一大掌會ノ不行ノ院ト戸大宮ニ行

天皇号ト　天皇号ト　院号上ノ

ヲ之ハ御令　後鳥羽天皇ト有テ又後

院号

一位ニ力也可称宮ノ儲君ト戸文別ニ

殿ノ立ル也　叔親王　宣下有テ親王ト

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

中御立太子宣下ありて　春宮ト
奉ル此時立太子ノ儀ハ
女御太子ハ誕生ノ人ハ
御成ノ御中宮宣下ありし
ハ今ハ
一乗清絃地　三位以上　紫隠　四位大納言以下公卿　櫨肥　五位以下
石帯　石帯ハ四位　犀角　五位　牛角　六位
北門巡方ノ有故五位ハ石帯ハ用ル　晴ハ用ル　老病ハ用ル　此外ハ用ル
一仁孝帝ハ武家道学興隆一旦
衆生ノ望ハ於諸国制度ハ
流道ノ儀ハ不可ハ
庶頭撰便勾當等ハ次第制度ハ
於院中御用ハ自カ家令ハ
事ハ非分ノ花族ハ勿体ハ
新主ハ茂春日社定陰陽典薬外記
官務等ハ清原ハ
清原ハ時次下ハ
中御門ハ
等ハ礼節不及沙汰ハ
一ハ者変ハ家中ハ不召仕ハ者ハ
過計ノ召具ハ家僕ハ青侍ハ
小者ハ侍ハ中間小者ハ侍ハ
召ハ公家中一向不存ハ
名ノ中稽ハ計ハ難ハ

今持ちくい諸大夫取之、今付ん諸大夫
所ゝ的、雑色金剛丸垂ゝん也、先今之
一馬太刀進物事
面向之ゝ礼之儀ハ嫁要元服
祝賀、庭従ゝ人所ゝ必ゝ出仕
行幸供奉之公卿ゝ此礼不通
[illegible]傳家ゝ的又有此礼、先
馬太刀折紙書状馬一疋ト載ゝ
[illegible]ゝ的、太刀一腰ゝ
[illegible]ゝ物ゝ的ハ指ト
注之為ゝ一疋ト不申ハ可為馬
代ゝ歟、但家ゝ之ゝ不可[illegible]

衣冠之次第

一指貫之浅黄ハ六位ノ人其外地下人之
着用指貫ゝ之其体袍ゝ之細クケ
[illegible]

一五位ノ人ハ紫ノ無地ノ指貫着ス
殿上及官掌ハ浮線綾織文デ
浅黄ノ指貫着ス老人ハ程浅黄ゝ
之紫鈍色織文ノ指貫之事
家法指家白キ指貫之[illegible]
[illegible]小直衣御召ハソバツキ尾ヲ小
出シ御召ハ的ニ七ツ指貫之大ニ
家ヲラテハ不着ス

一狩衣ハ六位之人何之ニテモ召ハ狩衣ハ
衣冠之時用之狩衣ハ烏帽子之
一長絹袴長絹小千袴ハ
一奉ノ表袴袴ハ表袴ハ
紋ノ分柳ノ大形ニ入ル之
地ノ小色濃松ノ大形ニ入ル之秋ノ
ハ色之色ニ入ル之黒色ハ之出仕出立ノ
合略柳色也袷羽織ハ袷ハ白キ帷子ノ
一卯月朔日ハ五日ニテ袷ノ年ハ
卯月朔日ハ衣カヘトス
一五月五日ハ八月晦日ニテ単衣ノ年ハ
九月一日ヨリ八日ニテ袷ノ年

一九月九日ヨリ濃小袖ノ年ハ入ル
中少将ハ任官之時祝賀之
宴ハ任官之時美慶之
御服之事
一天子之御服ハ衮冕十二章衣物
右御服ハ即位又正月朝賀ノ受
玉ノ時着用之又大小神及事始
諸陵奉幣ニ玉ノ時ハ白衣白袴
諸臣禮服
一一位ハ濃紫ノ衣牙ノ笏白キ袴條帯
濃縹紗裙錦ノ襪烏鳥綬玉佩
ヲ佩三位ハ紅濃紫ノ衣四位ハ濃紅

ノ表五位ハウスフケノ表ニ大祀大嘗會
元日ニ服ス
一瀰ヒラミ袴ノ上ニ加ル裳ニ鳥皮ノ舄ハ皂
皮ニ舄ノ高キ皂ノ多ニ綾綾ニ
玉ノ帯ハ天子ハ白玉ニ御ハ玉ニ
一又大袖 小袖 草 表袴 大口 蒙
玉珮 玉珮 玉ノ緒ニテ大キナル
玉ニツザルトソ緒五筋下ル 天子ハ玉
二ツ良ニ
一牙笏 象牙ニ 天子ノハ上ノ一文字
ニ 下ノ少シ丸クスルトソ是欤
諸臣朝服

一一品以下五位以上並ニ皂ノ羅ノ頭巾
表ノ色ハ礼服ニ同ニ 牙笏 白キ袴
金銀裝ノ腰帯 白キ襪 鳥皮ノ履
紗冠 烏帽子ニ支
一天武天皇十一年六月男女始ニ髪ヲ
結ブテウ事アリ 紗ノ冠ノ着ハ是ヨリ
サキ 織物 縫モノ 綾キ 綿キ 等ノ冠ノ
春此ヨリ漆ヌリ紗ノ冠ノキハ是
紗ノ冠ノ烏帽子ノ起ル
一諸臣唐名唱ヤウノ一 左ハ唐名
金吾トヽ督ノ取ハ金吾大將軍 佐ハ
金吾次將トイフ 常ニ取ハ金吾ト計

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

云へし侍従も拾遺補闕ナレハ拾遺ト
ハカリ云へし清宴准知ス へし

一鶴懸子羽織事

段子織ナレ羽二重ニテモ不苦百年
程以来中和門院御着用ト云ヘリ
色イツレニテモ不苦

一柿濃（コガ）ノ色シボリヲト着用之
白五色ニ染分ルヨシ

一糸鞋（シカ）ノ色ノ如メ裏ニ皮ノ有ル
成ヲトハ高宮ノ人ハ云ヘリ事

一毛香ノ毛ニテ拵ル

一薫香 不知

一豊明節會 五節ノ夏十月ニ有ル
先去近代畧之

一横目扇杉ノ木ノ不ク金箔ノ星ヲ
鶴ヲシテ松鶴亀橋等ノ書扇
裏ニハ月ノ蝶鳥ノ書 要ハ一方蝶
二方鳥何レ金ニテ作ル 之ノ方ハ一ト
金ヲ五色糸ノ二ツヨリニメ付ナリ
紫青黄赤白糸ニ色ヲ持不ルヲ
ハ〻ト巻付持 両方ノ色同様
糸付陰ニ橋松ナト作リ物ノ生
影ヲ作ル御所御持ノ御扇ナリ

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

一下重、経ヲ上、折更ニ屏形ニ

布袍覓

一[illegible]但片紬[illegible]寸宛二幅

一[illegible]但片糸七[illegible]

一七[illegible]猫一幅ニテ有ル

一三[illegible]寸ヲ寸ヲ[illegible]ヲ[illegible]ヲ[illegible]

一背入四[illegible]ニツ割メ入布ハ[illegible]

一上[illegible]紬三[illegible]寸ヲ[illegible]片紬ノ分紬草ヲ[illegible]

右袍覓ハ[illegible]

一[illegible]但二千ノ細[illegible]

[illegible]

布三端[illegible]

右ハ太田八之丞ニ借用[illegible]者之

年號文字略頌　新作

自大寶元　至貞享歳

年号員數　二百有八

文字之數　四百廿四

各別一字　惣五十九

大寶慶雲和銅靈亀養老神天平勝字護景應延暦同弘仁長承嘉祥壽齊衡安貞觀元昌泰寛喜德康保祿祿永祚正治萬久文

建福禎乾享吉中
至武明

右八条通誠御所本ニ有

綿庚上 并糸紙
白葛袴
鴨皆藍白地草
鞠為門第
右先之依仕之
受用之也

元禄五年
十月廿三日 [illegible]

[illegible]

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

御国忌事御献

初献

御雑煮

二献

御汁

三献

五献

御汁

四献

六献

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

七歩

[illegible]地[illegible]

[illegible]

寛文十年七月[illegible]

女御[illegible]後初歩

[illegible]歩[illegible]

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

當代諸家昇進次第　全

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

當代諸家昇進之次第

摂家

近衛　九條　二條　一條　鷹司

右元服之時正五位下任少將直叙正四位下中將之時叙二位三位不歴參議任大納言兼近衛大將歴大臣至摂政関白為先途

清花

久我　西園寺　轉法輪　花山院

今出川　大炊御門　德大寺

廣幡　新家　醍醐　新家二條関白　昭良公次男也

八条殿三ノ家也

右童躰、特任侍従、自従五位下叙
正五位下、元服之時、従四位下中将、特
叙三位、近代不歴参議、任納言、兼
近衛大将、至太政大臣、為先途、

大臣家

三條西　中院　正親町三條

右童躰、特従五位下、元服之時、従五
位上、侍従四位中将、任参議、至大臣
為先途、

名家

日野　勧修寺　葉室　耳露寺
中御門　百里小路　清閑寺　小川坊城
高丸　廣橋　柳原　竹屋
日野西　西大路　裏松

右元服之時、従五位上、侍従九、右、雑官
兼蔵人、其後任蔵人頭、歴参議、至
大納言、為先途、近代、彊属推貴、或
叙一位、邂逅昇大臣、無念之儀也

羽林家

正親町　中山　今城　四條　鷲尾
西大路　油小路　園　姉小路　松木
東園　庭田

右童躰之時、従五位下、元服之時、従五位上
侍従、近衛中将之時、任蔵人頭、歴参
議、至大納言、為先途、近代、叙一位、無念
之儀也

同

四辻　小倉　武者小路　大宮　萩

右童躰之時、従五位下、元服、同日、従五位

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

上侍従歴近衛次将四位之時任参議
至大納言為先途

同

六條　阿野　滋野井　清水谷

右童躰之時従五位下元服之時従五位
上侍従歴近衛次将叙二三位任参
議此時中将兼官大納言為先途

同

千種　岩倉　花園　橘本　中園
裏辻　梅渓　山本　野宮　堀川
水無瀬　下冷泉　葛谷　七條　櫛笥

右大概同前至中納言為先途

大納言極官之家

高倉　難波　高辻　飛鳥井　持明院
五條　上冷泉　東坊城

右高辻　五條　東坊城　童躰之時穀倉
院給學文勤特正六位上元服同日秀
才或茂才遂献策以来従五位下侍
従歴少納言此外者童躰之時従五位
下元服同日従五位上其後歴近衛ノ
次将高倉者四府統八省内可然官
任是皆任参議至大納為先途

中納言極官之家

西洞院　長谷　園池　田向　芝山
池尻　鼎西　裏松　梅小路

右至中納言為先途

参議極官之家

通口　川嶋　梅園　唐橋　交野
石井

右至参議為先途

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

非参議家

竹内　萩原　五辻　吉田　白川

船橋　伏原　冨小路　土御門

倉橋　藤谷

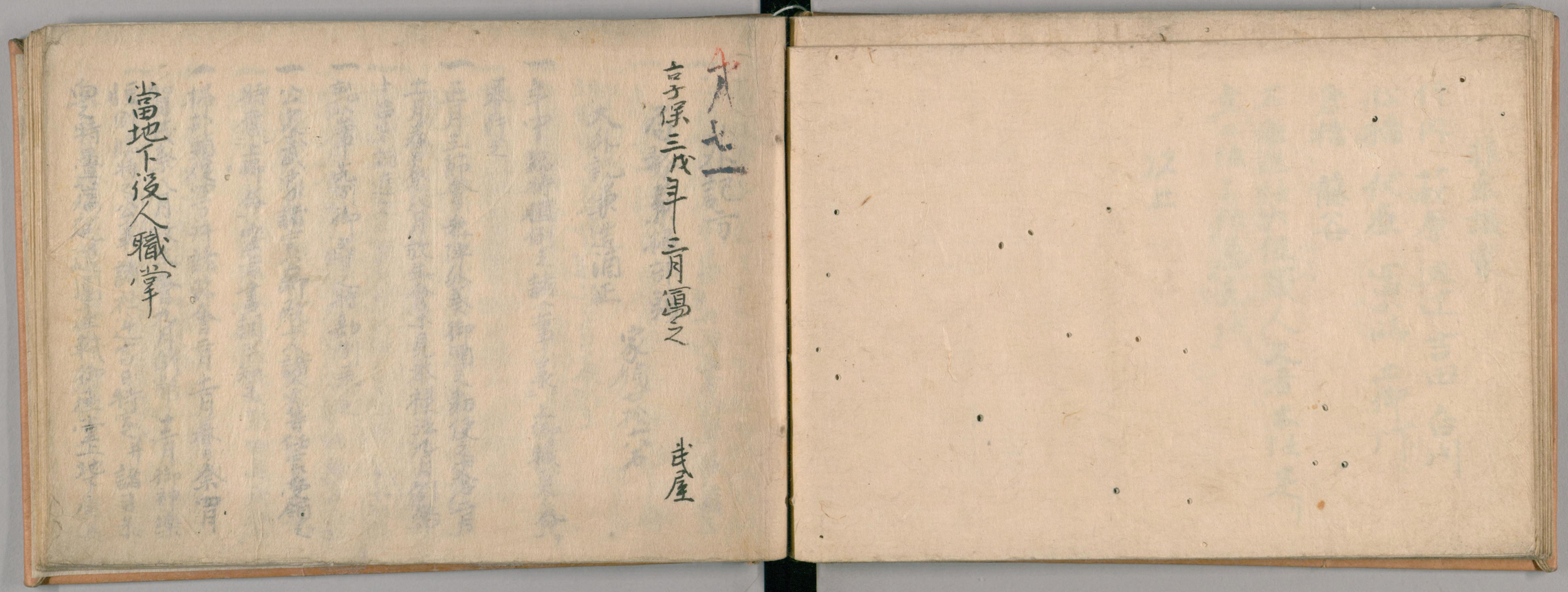
右邂逅任六位蔵人又者本任足り

全二位三位為二先途一

以上

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用



十七

享保三戊年二月寫之

武屋

當地下役人職掌

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

外記方

局務兼掃部頭　家領七拾六石

大外記兼造酒正

一年中臨時恒例之諸公事兼テ上御職之命ヲ奉行之

一正月三節會參陣外奏御酒之勅使之交名二月上月春日祭八月放生會ニ見參禄法九月例幣ト申ニ調進之

一乾公事先例御尋之時勘例奉之

一公家武家諸官公卿殿上人諸史等任官受領之特應上卿命宣旨書調下知之

一掃部頭役ニ而并諸節會二月上月春日祭四月賀茂祭八月放生會九月例幣十月御神樂恒例臨時之公事諸社行幸日時定并諸司參内之特畳薦筵道圓座軾御座堂上地下座具

外日月蝕御取裏之造同以調進之

一造酒正役諸節會勸盃之役勤之

少外記 兼内記中務備

一諸節會於陣進外任奏催國栖立樂白馬奏候ハ

又進御酒勅使之交名者外弁握 青月青春日祭

八月放生會参向進見参九月例幣 神祇官参向

一中内記役三節會賀茂祭伊勢日光例幣 具外臨時

神社贈位贈官ハ之宣命 自大外記請取之ハ法

之大内記故障之時少内記作進之或ハ上卿参向之

時少内記相從参向

一中務備役諸節會版之役沙汰之白馬踏歌舞

妓樂前之役勤之位記之役奉行之

史生

一三節會着外弁之幄 并外記文書廻覽之時公卿之

亭ハ時参之

文殿

一節會 并諸公事之時於陣座文書執筆之時

御硯調進之

内豎 兼主鈴 家領高橋五右

一四月汗三節會例幣 御神樂ハ 出御之時

雜仕勤之節會公卿之勸盃奉仕之

一主鈴役位記官符御請印被捺時具雜具

調進之御請印者常頒置ハ

兵庫寮 兼使王代

一御即位并大嘗會之参役

一使王代役九月伊勢例幣 并御即位大嘗會由

奉幣還宮ハ之時神祇官并伊勢参向

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

大舍人

一三節會并諸公事之時南門并日花門月花門ハ開門之役奉仕之

召仕　兼副使

一諸節會版調進陣之儀ハ之時上卿之祿賜
又公卿之祿之役奉仕例幣神祇官春日祭
放生會ハ参向其外諸社遷宮参向年
之命ヲ兼

一副使役位記宣旨宣命ハ之副使勤

陣官人

一諸節會陣之座ニテ内弁之命ヲ兼諸司召
載ハ之役ヲ奉仕開門圍司着座公卿参列
少納言版着玉ハ之役ヲ声唱之北陣ニテ
職事之命ヲ兼判官下知并外恒例臨時陣儀

ハ参陣

造酒司正　兼内蔵寮　家領高三石

一三節會御前之御酒公卿宮廷三献之酒
四月賀茂祭近衛使之饗衝重酒并平座
節會朔旦冬至臣下之酒大掌會神酒ハ
悉調進之

一内蔵寮役二月十月春日祭四月賀茂祭月
放生會ハ官幣内侍所御迎座并毎年十二
月御神樂之神饌調進殿下ニ史生二人有り
賀茂祭参向

大膳職　家領高三石

一三節會公卿之饗食膳平座節會朔旦冬至ハ
公卿饗食膳大掌會神饌内侍所御遷座并
毎年十二月御神樂之神饌二月十月春日祭

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

神饌并上卿弁之卿食膳貫首拜賀之時陽
漬ヲ調進

賛者

一御即位之時参勤典儀袴再拜之時賛者兼
傳ヲ群官ニ再拜也

掃部寮

一自掃部頭畳薦戟圓座莚道ヲ請取補設之
反奉仕之四方拜三節會二月上月春日祭例幣
御庭并神祇官御神樂諸社之遷宮之幄何ト
補設之反奉仕之

一位記之請印之案机立庭上也

左右馬寮

一自馬節會御監之参并御馬二月十月春日祭
神馬胃賀茂祭八月放生會ヲ神馬九月例幣
使王之御馬臨時諸社遷宮之神馬悉沙汰之八月
自江戸御進獻之御馬出庭上請取之

使部

一年中諸公事并或八自上被仰渡ヲ有之時隨
所務之下知諸役人ニ相觸催者也

一三節會外弁之幄式之笠置之諸宣旨大
外記持参之時相從

官方

左大史官務　家領高百石

一年中恒例臨時之諸公事兼年職事之命奉行之

一三節會参陣官方并御供言束之事奉仕

一伊勢両宮祈宜宣旨并諸社遷宮日特之宣旨親王家將軍家法中示之宣旨伊勢日光例幣官等此外諸官等官旨書式悉書調之

一就公事旧例御尋之時先例勘進之

右大史

左少史

右廿史

一三節會参陣着外弁幄或義弁命官
亨及汲之於陣座指油之及御着陣之
特覧吉書正月太元師法御香水之御教書
調之諸陣儀之時義弁命官亨之及汲
之春日祭故生會例幣ハ参向諸社迂宮
参向行事之

右史生　行事官　家領高三石

一三節會紫震殿御装束奉仕之着外弁之
幄二月上月春日祭四月賀茂祭之贖物殺
物ハ調進之勤宮主代ヲ

一四月十月南殿御更衣奉仕之

一紫震殿御道具御即位之御道具并
御鳳輦ハ又伊勢春日御神服御神宝其外
諸社之御神服御神宝悉調進之

一年中紫震殿御帳臺取置取立申之事
奉仕之

九官掌　三人　兼神祇官公文職　鄭家中
　　三人　岩崎家
　　産田家
右官掌　三人　峯家
　　三人

一三節會参仕着外弁之幄二月上月春日
祭八月故生會参向四月十月紫震殿御
帳臺御更衣奉仕之此外諸社遷宮祭

一於小野一家者伊勢内宮御迂宮御奉幣
并御即位大嘗會之由奉幣賀茂下上賀
布祢ハ之御遷宮之時御奉幣調進之東
照宮臨時御奉幣調進之及自古来奉
仕之

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

一正月大元帥法御香ハ之御教書自史兼之
以衛士令下知者也
一神祇官公文職役諸社奉幣之特神祇官
之差文請奏ハ　書調之胃稲荷祭
松尾祭神祇官之消息兼伯命書調之夏
両社神主祝宜以下之補任状同以書調之

召使　四人

一諸節會陣儀ハ之特上卿之裾ヲ直ス禄物之夏
ハ奉仕之二月十月春日祭八月放生會九月例幣
ハ奉向其外諸社遷宮奉向并之命ヲ兼奉
仕之
一宣旨官府之副使勤之

内舎人　六人

一御即位之特奉仕并東宮行啓之特供奉

大蔵省　兼九近府廳頭
下司一人

木工寮

一三節會公卿之禄物并諸公事陣儀ハ陣
之畳殿上小板敷畳調進之二月十月春日祭
御幣料庭積之夏奉仕之上卿并禄之綿ハ調進之
一伊勢見例幣由奉幣并伊勢賀茂貫布
祢正遷宮之特御奉幣調進之
一諸社遷宮并諸法夏喔之毎度幔内侍所渡御
特遷之引幔ハ調進
一下司役四月見例幣之特幣物相従奉向
一木工寮役四月洗浄寮燈臺節會内并外并
之瓦子床子胡床標ハ調進ハ朝拝節會

并諸公事入夜之特落灯臺設之二月十月
春日祭神饌之御相撰文枝九月例幣神祇
官門代八足案諸社遷宮之幄御神樂之御
棚ハ悉調進之

一廳頭役三節會次將之杵胡床御即位之謀
太鼓鉦鼓ハ調進之

主殿寮 并下司門部

一四ツ杵小朝拜三節會御神樂其外諸公
方之入夜之時立明方之両官人奉仕之并行幸
之時御鳳輦之役御即位用門ハ之事両官
人奉仕之

一伴ツ役四ツ杵三節會御修法御神樂想ヒ
及夜陰之特庭燎之松御前之火櫃生炭二
月十月春日御煤掃之特帚御髪上之松
明御神樂之庭火之松大掌會之官蓋図

郡ト定之火櫃生炭ハ悉調進之

一伏伯方役諸節會諸陳儀諸社遷宮ハ
之特班幔調進之入夜特庭燎之火炬師
車沙汰之世ハ震殿并陣座掌燈ハ設
之

一門部役御即位大掌會ハ之特用門役

使部

一年中諸公事或役上被仰渡ハ有之時隨官務
下知諸役人ニ相觸催者也

一二月十月春日祭之特上卿弁之禄之案ハ庭
中也

衛士

一三節會御所洗掃除之方奉仕之正月大元
師法後七日御修法御撫物ハ蔵人相役二月
十月春日祭神馬奉之四月賀茂祭日光

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

例幣ハ九月伊勢例幣相後糸白十月廿五日
餅調進ハ十月御煤掃之時清涼殿縁内ニ
外後小番所男居ハ掃除之御髪上於
禁庭奉仕之

御香水役

一正月大元帥法之御香水糸白ハ刻秋篠寺取
来之也

鉢立官人

一三節會九石之次将之前鉢ハ立者也

幡鉢官人

一御即位之時四神幢九石府之謀許ハ立者也

駕輿丁

九近府兄部　猪熊座汁法人

右近府兄部　石近府汁法人

九兵衛府兄部　石兵衛府兄部

一内侍所之御羽車行幸之御鳳輦ハ兄部汁法人
ハ令下知駕輿丁之座人界之駕輿丁ハ検校人
有

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

蔵人方

出納　兼内蔵寮年預　左近府廳頭
院年典代　明法博士　家領高三拾石余

一四日拝三節會小朝拝太元帥法御神樂例幣賀茂祭放生會公卿拝賀着陣職事拝賀諸公事陣之儀蔵人方一切奉行之

一御神樂之時和琴役送勤之

一蔵人方吉書本調之

一内蔵寮年預役伊勢日光賀茂祭御神樂本之御幣物清涼殿御帳臺殿上之御道具調進之

一左近府廳頭役御即位之時幄一宇諸方歳

諸等調進之

一主典代役四日拝御幸等之支奉仕之

御蔵　山科氏　栗津氏

忌部代　本役人之内真継氏兼之

一四日拝三節會小朝拝御神樂清涼殿并殿上之掌燈脂燭御修法之時紫震殿之掌燈本役公卿拝賀着陣職事拝賀之時脂燭掌灯役之

一將軍宣下并御官本之時告使役勤月例幣告使日勤之

一毎月朔日護持之御夫尊之支奉仕之

一於山科家八月朔日御茅帰調進并年中寄書寮ヲ調進之紙奉行之

一忌部役伊勢例幣并臨時御奉幣之時相
役幣物悉調

内膳司　一人　濱鳴氏　家領高三石

一正月御歯固三節會御膳年中二度之御朝餉等調進之并臨時御膳
調進之

圖書寮　二人　栗井氏　紙漉兄部小伝治氏　之座有

一四方拝火舎三節會賀茂祭伊勢日光例
幣其外臨時之宣命紙年中宿紙并
六月晦日御茅輪之紙御暦之紙御神楽御
幣紙悉調進之

一諸法事供養之時御誦經之鐘并打磬之
奉仕之

主水司

一例幣神祇官之御手水具諸社御遷
宮之時勅使之御手水并御元服
御即位御手水之具悉調進之

行事所

一年中諸公事并御神楽之時楽人ヲ催
御下行物沙汰之

内蔵寮官人

一四方拝三節會例幣御神楽出御之
時布帛ヲ浦役

一御法事之時御誦經物調備文ヲ設之

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

内蔵寮史生

一伊勢・賀茂祭ホ之特奉幣相後テ
参向御即位之特執物之役奉仕

修理職　家領高二十三石　西池氏　高嶋氏　各一人配分

一四方拝後階、三節會階下ノ座御修法之特
出仕正月十九日九義長同十九日八幡社参ナ
二月御神楽之特内侍ヨリ八垣ヲ撤注連
等ヲ役役奉仕之

上南座　家領高三石

下南座　右同断

一四方拝三節會諸公事之特御殿御格子
上下シ之役清涼殿御帳臺之役奉仕
入夜之特灯械御燈掃之特幕之柄竹
調進御神楽之特堂上地下座三尋木補設ノ

戸屋主

一四方拝三節會例幣御神楽出御之特
御笏御草鞋御靴之事奉仕之

仕人

一三節會諸公事公卿遅参之特召参并
御神楽之特示人諸司ホ催之

右近府鼓師

右近府鉦師

一御即位之特参勤

鉦取

一御即位参役之時内蔵寮鉦取之御法事
供養特成儀師惣左廳之役元之

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

釜殿　六人

一年中毎日御湯并御神饌之御湯奉仕之
御神事之時庭燎之黒松等御士役之

御車役人牛飼童子二人　吉田泉一九　家侍共石　茅木仁納丸　右同り

一正月十日三毬打二月三日鶏合之夏奉仕之

一御用之御車之牛常飼之賀茂祭儲車之時奉仕之世外行幸御幸之時御車奉仕之

御車副役人　家侍五石三人　三条宰一人　壱石三斗四人有

舎人　四人　家侍五石四人宛

棧持　一人
榻持　二人　四人者家侍弐石有

掛竿持一人　家侍三石有

右御車役御車出申時分供奉

院兼仕兼御経蔵注師　家侍五石奉仕

濱田法橋道泉

同　同　濱田道泉

一御法事之時仏供灯油香華之役奉仕之

繪所　家侍五石奉　法橋仁琢

一勅會御法事之時仏像を書之

大仏師

一節分御日生并御法受之時仏像調進之

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

大黒　松太夫　家俸三石

一正月三毬打　梅子之夏苅　月ニ用水合角
御菊春ハ動之

女役
一采女　家俸四石　常内侍所ニ勤
二采女　家俸十四石　常御末頭勤

一三節會時ハ服御膳并毎月御朝餉之時
役送勤之御神楽之時奉仕之

女
主殿司　家俸二石

一三節會并職事拜賀之時殿上ニ作硯湯
後西之夏奉仕之

女
内教坊　家俸二石

一節會之時舞妓之袴ハ奉仕之

女嬬

一四方拜小朝拜節會御神楽之時御殿
掌灯指油ハ之夏并日月触　御所畏之
夏奉仕之

女
園司　両人　一人者大聖寺殿ハ抱
一人者丹露寺殿抱
家俸三石六斗余ヲ以テ

一節會之時南門ノ九石ニ着座

大針

一年中御疊御茵ハ之事奉仕之

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

一内侍所御神楽之時楽人ハ出納催之

内豎　主殿寮　掃部寮

大膳職　内蔵寮

衛士

出納依為　院主典代催之分

院廳　家仆高三石

一院御ハ四方拝　御歯固　敬子餅

御煤拂之節　御髪上松明ハ之事

悉以テ調進之

奎呂次　小主殿助

一御幸并春宮行啓之時供奉於

院御所御會之時御硯水ハ奉仕之

西局并蔵人方催之外

検非違使

家仆高三石　堀川

家仆高五石　堀川

家仆高五石　町口

家仆高五石　河端

家仆高五石　堀川

家仆高五石　町口

家仆高五石　河端

家仆高五石　堀川

一白馬節會北陣雑犯之事四月賀茂祭非常

赦有之時向獄舎犯人之事沙汰之

一検多家ハ雖為下臈之時判官中　看督長

使廳　火廳ハ下知催之事蒙職事

并傳奏之命沙汰之於武家有勘盃

事

看督長五人　家仆高八石余四人　砂分

看督長人者出之

一白馬節會小陣非常赦之特恕罪命
史長下知之賀茂參之特刑官伺參向

史長　二人

一白馬節會小陣非常赦特刑官命自
省督長恕之傳使廳賀茂參之特刑官
伺參向

使廳　五人　家俸十八石四斗余　四人
去人者　四人

一白馬節會小陣并非常赦之特刑官命
自大長恕之犯人囚人之他遠

御厨子所預　禁裏ニ勤ル　家俸十石六斗余
高橋氏
兼小預

供御所預　右内ノ
大隅氏　家俸十四石六斗余
兼小預

一御厨子所預後三節會腋御膳并朝餉二献
度之御高盛真水御元服立后立后御即
位大嘗會小御膳悉調進

一小預役年中日貢御膳正月院中御薬固
七月禁裏院中御荷供御宮方御誕生
特御七夜御膳御宮参之時御練粉御髪置
御結直御髪除御黒歯之時折櫃物六合
御色直之時三本立御膳折櫃合御深除之
特六本立御膳折櫃合年中御前之沖
調進御修法之中日ニ折八合并正月十日宴人
座了勤之同御特湯屋物小調進之

一供御所預役正月一日二日三日七日十日立春
小御強供御　禁裏院中ニ調進節分ニ
大豆并折御献正月十日御練粥小豆御粥
禁裏院中同女中方ニ調進之

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

一采女役三節會御膳供御之時進前

上御蔵　家侯百三十石余　立入氏

下御蔵　家侯百三十石　多氏

一毎月朔日御格一荷御者五種肴者御獻之料ニ酔酒一荷後後御者八月朔日破酒一荷後後御者　禁裏　院中調進之六月ニ蓮根日調進之

院雑色四人　家侯三石　家侯三石　家侯三石

一二月十月春日祭氏院奉幣調進之

石者　院御所御番条勅　御幸供奉勅之

典樂頭　家侯百三十石　小森丹波氏

一正月屠蘇白散度漳散調進之

針博士　藤木駿河守賀茂成章

陰陽助　家侯百三十石余　幸徳井宮内大輔賀茂友親

一新暦作進年中　公家恒例臨時日時勘之但於近年者土御門家為陰陽頭依時勘進之事有之

御鏡師　家侯百一石　青木采女

一御前之御鏡調進之毎年二月彼岸之内御鏡清之

小法師八人　家侯七石八人宛

一年中御庭掃除之

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

大筆　家侯百七十石　早水祐以

小筆　善太夫

一年中御月次筆調進勤修等之扶養

大注師　家侯百十石　降屋内匠

院注師　家侯百六石　菊沢為義

一新暦調進院中諸家ハ同之

注師　家侯百五石　仁丸

一御障子張申事奉仕之

梅畑佐御人　家侯百三石

一五月五日菖蒲御殿之桟木調進之今ハ

川俣少下知　御即位之時御庭ノ幢護之

御大工　家侯七石　松宮常陸

同　木子播磨

一正月御新姓之度奉仕之御爆竹之時ハ上

一正月新調ノ荒道具ハ調進之　院中ハ

同御調進之

上小面　無数

下小面　同

一院御所小番勤之正月十八日　禁裏

爆竹或御能有之時階九石宿直之

八月放生會九右衛門府之役出仕

院御葬并親王行啓ハ供奉

御随身　無数

一院御所罰拜立明　御葬供奉本府
取役也　御即位之時中將代并將代勤之
位記請下之時奉仕之陣官人代ハ勤之
親王拘家大將ハ之陪ハ無杖宣下後
供奉　院御葬借奉　春宮御座之時帯
刀第之於下箱ハ家者例年習賀茂
祭近衛使ニ相從ハ向

瀧口　今者ハ

一面特為瀧口人之職掌者御臺所ハ
大小務悉以知之更非旧儀説　但依品

御使公役或栽草木ハ雜役奉仕之而已
右今ハ異事ハ

伶人部

一南都京都天王寺三所ノ樂人五十人
知行高合弐千石　但五ツ物成ニシテ現米千石
右配分之次第
家柴五百拾石　五十人ハ人別十石宛
陪臣料米九拾石　九人ハ人別十石宛
上臣料米百石　二十人ハ人別五石宛
中臣料米百石　二十人ハ人別五石宛
総云百料米弐百石也

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91
ガラス使用

826
371
91

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『禁裏御所御用日記』　請求記号 826-91

ガラス使用